



小松 精子さん（4年）

Q 1 社会福祉学科を志望した動機

小松 生まれ育った地域に支えられて成長できたことを感謝しており、今度は自分が福祉を勉強して地域に還元して行きたいと思ったからです。

多田 高校で福祉エリアというコースに所属しており、その中で特に高齢者分野（地域包括支援センター）に興味があり、本学を希望しました。

Q 2 将来どのような職業につきたいと思っていますか

小松 社会福祉協議会の職員です。たくさんの人と協同して、地域を元気づけていくことができるのが、社会福祉協議会の職員であり、3年生の実習を社会福祉協議会で学べたことでその思いが大きくなっています。

多田 就労支援の講義を受ける中で、障がい者の就労に興味を持ち、将来、障がい者の就労にかかわる仕事につきたいと思っています。また、障がい児のデイサービスの仕事にも興味があります。



多田萌の香さん（4年）

Q 3 学生生活で力を入れていること

小松 知的障がい児の余暇支援の充実をサポートするサークル活動を一生懸命しています。月1回、水遊びやクリスマス会の行事等の企画立案、行事の実施まで行っており、大変勉強になっています。

多田 丘の上学園という知的障がい者施設の利用者と地域住民がコミュニケーションとれる場所を提供するサロン事業に毎週日曜日に参加しており、自分が利用者と住民の潤滑油になるようにがんばっています。



Q 4 社会福祉学科での授業で楽しかったこと

小松 実習（現場実習指導II）が楽しかった。講義では学べないことを学べたことや地域住民と接して地域での福祉活動の取り組みを学べたことがよかった。

多田 自分の興味ある分野を詳しく勉強できるゼミが楽しい。先生もサポートやアドバイスをくれ、さらに少人数（5人）でのゼミのため、より学びを深めることができる。

Q 5 名寄市立大学のいい点

小松・多田（共通）

1年のときに学科を超えた授業があり、さらに小さい大学だけに、他学科や学年を超えた交流があることです。

Q 6 大学生になって変わったこと

小松 大学に来て、大学祭等の行事を通して積極性を身に着けることができました。

多田 福祉の他分野（障がい児者）にも、興味を持てるようになり、物事を見るとき視野が広がり、幅広く物事を考えることができるようになりました。

